

# 淡海生涯カレッジ草津校の実践

草津校実行委員会



## 1. テーマについて

私たちを取りまく環境は、近年大きな変化をみせており、大量生産・大量消費・大量廃棄や効率性・利便性の追求の代償として、温室効果ガスや廃棄物の排出量の増加、身近な生きものの減少と言った課題に直面しています。こうした問題は、誰かが解決してくれるのを待っているだけでは、悪化の一途をたどるばかりです。今を生きる私たちが、次代を担う子どもたちのために環境を守る一歩を進めなければなりません。

カレッジ草津校では、平成12年の開校以来、「環境文化の創造」をテーマに自然環境・生態系・ごみ処理やリサイクルなど身近な環境問題を仲間とともに学び、日々の暮らしのなかから環境問題について考え、一人ひとりが環境負荷軽減のためにできることの実践につなげてきました。

平成27年度については、下記プログラムで学びの場を提供しています。

### 【 問題発見講座 】

回	日時	講座テーマ・内容	講師	場所
1	6月20日(土)	開講式／これからの環境学習の進め方・活用の仕方	滋賀大学環境学習支援士会 橋田 卓也 氏	草津市役所8階 大会議室
2	6月26日(金)	企業における環境配慮への取組みについて	パナソニック株式会社 アプライアンス社	パナソニック株式会社 アプライアンス社
3	7月11日(土)	食と環境について 滋賀県での取組み	滋賀県食のブランド推進課	草津市役所8階 大会議室



## 【 実験・実習講座 】

回	日時	講座テーマ・内容	場所
1	8月 1日(土)	草津ブルー復活のカギ 早朝のあおばな摘みから染色体験	湖南農業高等学校
2	8月 29日(土)	理科実験 水の性質について	光泉高等学校
3	9月 5日(土)	DNA を見てみよう DNA を調べてみよう	玉川高等学校
4	9月 12日(土)	「練る」 科学部の生徒のみなさんも一緒に	草津東高等学校
5	9月 26日(土)	遊びにひそむ数学	草津高等学校



## 【 理論学習講座 】

回	日程	担当	演題
1	10月 3日(土)	神部 純一 教授	学ぶこと生かすこと
2	10月 10日(土)	三田村 緒佐武 教授	琵琶湖水系の治水と利水と環境を診る
3	10月 17日(土)	宮本 結佳 講師	アートプロジェクトを通じた景観創造
4	10月 31日(土)	藤岡 達也 教授	滋賀県の自然環境と自然災害
5	11月 14日(土)	石川 俊之 准教授	びわ湖に生息する生物のつながり ―湖沼生態系とは―
6	11月 28日(土)	神崎 宣次 准教授	外来種問題と「自然」
7	12月 5日(土)	久保 加織 教授	滋賀の食とその伝承に向けた取り組み
8	12月 12日(土)	森 太郎 講師	人と環境と考えた食料生産をめざして
9	12月 19日(土)	市川 智史 教授	環境教育・環境学習って何だろう
10	1月 30日(土)	全員	グループ発表会

問題発見講座・実験実習講座・理論学習講座と全18回の講座を通じた積み上げが、サブテーマである『ひとりではじめ みんなで進める環境づくり』につながっていることを期待しています。

## 2. 実施体制について

学習プログラム・予算編成などの運営については、年3回の実行委員会において決定し進めています。草津校における実行委員会組織は、次の通りです。

淡海生涯カレッジ草津校実行委員名簿

分	実施機関名	氏名
実行委員	国立大学法人滋賀大学社会連携研究センター	(教授) 神部 純一 <small>かんべ じゅんいち</small>
	国立大学法人 滋賀大学教育学部	(准教授) 宮本 結佳 <small>みやもと ゆか</small>
	滋賀県立草津東高等学校	(教頭) 辻田 浩 <small>つじた ひろし</small>
	滋賀県教育委員会事務局生涯学習課 学習振興グループ	(社会教育主事) 辰巳 剛 <small>たつみ つよし</small>
	草津市環境経済部環境課 環境グループ	(グループ長) 小川 卓史 <small>おがわ たくし</small>
	草津市教育委員会事務局 生涯学習課	(課長) 奥谷 美津子 <small>おくたに みつこ</small>
事務局	草津市教育委員会事務局生涯学習課 生涯学習・青少年グループ	(グループ長) 吉田 万里 <small>よしだ まり</small>

## 3. 受講者について

JR、自動車いずれも交通の便がよく、市外から受講される方が多くおられます。残念ながら、ここ数年は受講者数は定員を下回っていますが、その分アットホームな雰囲気です、楽しみながら学習を進めています。

### 受講者数の推移

年度/年代	人数	30代	40代	50代	60代	70代~	男性	女性	市内	市外
22年度	31	2	3	9	16	1	18	13	22	9
23年度	25	0	1	5	14	5	15	10	15	10
24年度	27	0	2	6	13	6	20	7	22	5
25年度	22	1	0	2	13	6	13	9	11	11
26年度	22	0	1	6	9	6	12	10	13	9
27年度	22	1	0	3	7	11	17	5	7	15

問題発見講座、実験実習講座でのワンシーンと、感想を紹介します。

## 問題発見講座

- 環境学習支援士会の活動状況が理解できた。特に環境学習について、実践的な交流と支援等を主体的に行っている様子が理解できた。
- 我々琵琶湖の近くに住んでいる者は現状が当たり前と見ているが、外部からは美しい湖と見ておられる。県民がよりよく理解して大切な琵琶湖を守っていかねばならないと思う。
- 省エネ住宅を見学し、エコナビを使用した各種家電製品についての説明を聞く。環境に配慮した製品の開発に注力している現状を知った。
- 社員食堂で使用する野菜は「地産池消」との事ですが、地域の農業の活性化を図ることができ、また消費者と産地の距離が短いと低輸送コストになり、環境にもやさしいと思います。
- こだわり農業の認証を受ける農家へのチェックは大変な作業ですね。こだわり農業を推進するチェック機関は、こだわり農家が広がっているとの成果を見せるために、チェックが甘くなると思われるし、どうしても農業者は高く売れる農作物を作りたいので、農薬を使いたくなるだろうから、チェックをすり抜けようとするだろう。やはり、本来は、環境への消費者意識変革が第一に取り組むべき事だと考えられる。



- 環境こだわり農産物は栽培基準があり、生産農家さんは大変だと思いますが、琵琶湖や周辺環境にも配慮ができ、また安心安全な農産物を提供されている取り組みであることを認識しました。今後できるだけ購入したいと思います。

## 実験実習講座

- 簡単にできるものではなく、散々手を黒くしてやっと染まるのが良く分かりました。
- 顕微鏡で観察した”水中生物”、その姿をはっきりと確認できた時の満足感、久しぶりでした。

